



安全ニュース(2026年8月)



(株)スタンダード運輸

(株)東運

スエ電機(株)

重点実施項目 (国交省告示第1366号)

重点実施項目 (国交省告示第1366号)

危険の予測及び回避並びに 緊急時における対応方法

常に危険を予測して運転しよう!

"運転は予測・回避・対応の積み重ね"



"3箇条厳守"

前後6台の車を意識して運転しよう!

安全運転の極意の一つに、「前後左右6台の車を意識して運転しよう」という言葉があるのはご存じでしょうか。これは、言うまでもなく、運転中、やもすると前方だけに気をとられがちになりますが、できるだけ周囲の状況にも注意を払って運転することが大切という意味です。

前方 まず、前方ですが、最低限前2台の車の動きはつかむようにします。前車だけでなく、その前の車の動きも意識していれば、前車の動きも予測できるというわけです。

後方 また、後方もすぐ後ろの車とその後の車2台の動きを意識します。後ろから車間距離を詰めてきたり、追い越そうとしている車がないかを常に意識しておきます。それから、左右1台ずつの車の動きにも注意しましょう。車線変更をしてきたり、割り込んでこないかをチェックしておきます。自分の車だけでなく、前後左右にいる計6台の車を意識して運転していれば、急な事態にも対応できます。運転するときは常にそういう心構えを持って運転してください。



安全運転のポイント!

- 車間距離を十分に取る
- ミラー・目視でしっかり確認
- 予測運転でゆとりを持つ
- 焦らず、ゆずる思いやり運転

安全はすべてに優先します!

自分と周りの人の命を守るために、「前後左右6台の車」を意識して、今日も安全運転でいきましょう!

睡魔に襲われたら即刻運転中止を!

夜間に長距離を走行するトラックドライバーの睡魔に襲われたときの経験として次のようなものがありました。

たとえば、高速道路を走行しているときに、眠気のために一瞬気が失ってガードレールに車体を擦って、そのガリガリという音で目が覚めたというドライバーがいました。

また、運転中にフツと気を失うことがあるが、それが2回続いたら次は絶対に危ないので絶対に寝るというドライバーもいました。

いずれにしても、運転中に睡魔に襲われたら、それに逆らうことはできません。速やかに、寝るようにしてください。



睡魔を防ぐポイント!

- 十分な睡眠をとる
- こまめに休憩をとる
- 軽い運動やストレッチをする
- 眠気を感じたら無理せず休憩・仮眠を!

命を守るため、早めの判断を!

「あと少しだけ…」が重大事故につながります。疲れを感じたら、すぐに休憩または仮眠をとみましょう!

バックミラー、モニターを過信しない!

自分の目でしっかり確認!

バック事故を起こした運転者の中には「一応ミラーやモニターを見た」という人が多いのですが、ミラーやバックモニターではよく見えない物があることを理解しましょう。

とくに大型車の場合は、後方に作業員などがいてもミラーでは正確な距離がつかめません。

また、暗い倉庫などの中は、モニターでも十分に安全を確認できません。

ミラーやモニターはあくまで補助です!必ず自分の目で直接安全を確認しましょう。



安全確認のポイント

- 降りて直接見る
- 周囲の人に声をかける
- 死角を理解する
- 焦らず、慌てず

事故ゼロは確認から!思い込みや過信が事故のもと。「見えるはず」は危険です。自分の目で確実に確認しましょう!

一時停止を守らない運転者が意外に多い!

信号のない交差点を観察していると、一時停止標識や道路標示があって停止線が引かれているにもかかわらず、停止しない車が意外に多いことに気づきます。

これは、交差点の手前の停止線では、なかなか交差点道路の全貌がわからないので、停止線で止まらずに減速しながら交差点の際ギリギリまで出てしまうのです。

しかし、実際には停止線で一時停止しないと、速度が出すぎているので、路肩をやってくる歩行者や自転車、バイクなどと交差点で衝突するリスクが高まります。



停止線で停止したあとソロソロと徐行で前進して、もう一度交差点の直前で停止して確認をするべきです。

面倒くさく感じますが、交差点道路のバイクや自転車、歩行者も停止線からソロソロと出てくる車がいれば気づきます。互いに減速して事故を未然に防ぐことができるのです。

一時停止は思いやり運転の第一歩!安全確認でみんなを守ろう!

依然として死亡事故が多発しています!

依然として、フォークリフトの死傷災害が全国で多発しています。

死亡災害は、毎年およそ20~30件の間で推移していますが、労働災害件数全体では2,000件を超えています。



物流企業の倉庫やメーカーの資材置場、工事現場などで、たびたびフォークリフトによる重大事故が発生し、その事故形態として多いのは、「墜落・転落」「転倒」「はさまれ・巻き込まれ」「激突され」です。そして、原因の多くに見られるのがフォークリフトの用途外使用と無資格運転です。資格のない運転者が不用意な運転操作をしたり、フォークリフトの危険をよく認識しないまま用途外に使用することで死傷災害が多発していることに留意しましょう。

事故を防ぐためのポイント

- 用途外使用を絶対にしない!
- 資格のない人は運転しない!
- 周囲の安全確認と声をかけを徹底!
- 正しい作業方法で安全に作業!

一人ひとりの安全意識が大切な命を守ります!ルールを守り、安全で快適な職場をつくりましょう。